



中川校長先生突撃 Q&A !

・先生が着任されてから、もう 2 ヶ月 (5 月 30 日現在) が過ぎました。ボストンとボストン日本語学校の印象はいかがですか？

ボストンはとても美しい街ですね。実は、ボストンを訪れたのは今回で 3 度目です。新旧が混在するととても素敵な所だと感じています。

日本語学校の印象は、一言で言うと「すごい！」です。月曜日から金曜日まで現地校でがんばっている子どもたちが、明るい笑顔で土曜日にやってくる。のんびりしたり、友達と遊んだりしたい時もあると思いますが、それでもやってきてくれる子どもたちは素晴らしい。そして、子どもたちを支えてくださっているお家の方々のエネルギーは、本当に「すごい！」と感じています。

・そんなにほめていただいて光栄です。ところで、先生はボストンに御家族はいらっしゃるのですか？

妻と二人で来ました。娘が二人いますが、社会人と就職活動中の大学 4 年生なので、二人とも日本に残してきました。

・それはちょっとお淋しいですね。それでは、先生の出身地や生い立ちについて教えてください。

愛知県出身です。生まれも育ちも愛知県で、名古屋市に住んでいました。子どもの頃は、暇さえあれば野球をしたり、川遊びをしたりして育ちました。

・先生の明るいお人柄がもう保護者と生徒の間で人気ですが、御自分の性格の長所と短所を分析していただけますか？

それは初耳です。確かにどんなことでもどうせするのならば楽しく取り組むことが自分のモットーです。昔は、結構慎重で悩んだりもしましたが、悩んでいる暇もない

ほど忙しくなってからは、苦しいことも楽しんでできるように考え方を変えました。それが周りから見ると「明るい」のかもしれませんが。短所はありすぎて語り切れません。

・どうして教師という仕事を選ばれましたか？先生が学校教育で一番情熱を持ってらっしゃることは何ですか？

小学校の 2 年生の頃から先生になりたいと思っていました。学校の先生が小学生だった自分たちと楽しそうにドッジボールをしたり、一緒に悲しんだりしている姿を見ていて、自分もそんな先生になりたいと感じていました。

私はどんなことでも一生懸命にすることが好きです。そして、自分が接する子どもたちにもそうであってほしいと願っています。時々、「そんなことは小さな子がすることだから、もうバカバカしくてできない」という小学生や中学生がいますが、そういう子どもたちだって、本当は同じようにしたいと願っていることがよくあります。周りを気にして自分を押しさえ込むのではなく、人の迷惑にならないのであれば、どんなことでも自分が納得できるまで思う存分一生懸命できる、そんな子どもたちを育てていきたいと思って先生をしてみました。

・それでは、これまでの教師生活の中で印象に残っていることや、良くも悪しくも先生の教師人生を変えた出来事を教えてください。

中学校の教師としてスタートを切りました。私が勤務していた地域は、課外部活動が大変盛んで、毎日、始業前の朝練習で一日が始まり、放課後も練習、さらには土曜日でも日曜日でも練習というのが当たり前でした。私自身が中学時代、陸上部で同じような日々を過ごし、苦しい練習を 3 年間続けることができたことで、その後の人生

の大きな自信となっていたため、自分の教え子たちにもそのことを教えたくて指導をしていました。

最初に勤めた学校で、吹奏楽部の指導に当たりました。大学時代はオーケストラでバイオリンを弾いていたこともあり、新しく吹奏楽部をつくるので、顧問をしてほしいと依頼を受けました。しかし、吹奏楽は管楽器と打楽器で構成されており、オーケストラで弦楽器を弾いていた私にとっては未知の世界でした。ひたすら吹奏楽の研究をし、指導ができるように自分でも一通りすべての楽器が演奏できるようにしました。運動部が中心の学校でしたので、吹奏楽部の子どもたちはどこか引け目を感じているようでしたが、私の一生懸命の姿を感じてくれたのか、「コンクールに出て良い成績を取りたい」と言い出しました。それからが私の本当の戦いの始まりです。子どもたちが、がんばればがんばるほど、それに見合う成績を残させてあげたくてプレッシャーがどんどん大きくなっていきました。初めてのコンクールは、地区大会で終わりでした。2年目は小編成という30人編成でしたが、県大会まで出場し、トップの成績を収めることができました。そして、子どもたちの夢はさらに広がり、全国大会に出たいとまで言い始めました。そのためには、大編成という50人編成のバンドにしなければなりません。子どもたちの思いを何とかしてあげたくて、楽器をそろえるために奔走しました。3年目のバンドでしたが、地区大会、県大会を奇跡的に通過し、東海大会まで出場しました。残念ながらその大会では代表になれず、全国大会には出場できませんでしたが、別の大会では全国3位の成績を収めることができました。成績よりも何よりも、子どもたちと共に、夢に向かって邁進した日々が私の宝物です。一生懸命やっても、結果が出ないこともあります。でも、結果を出している人は、必ず一生懸命努力をしています。大切なのは、その過程だということ子どもたちとともに実感することができたことが、私の教師としての支えとなっています。

・まさに熱血先生でいらっしゃいますね！ボストンはアメリカの音楽の都としても名高いのですが、先生が深く音楽に関係することから、海外勤務、またはボストン勤務を希望されたのですか？

海外勤務の経験は一度もありません。管理職として、今年で10年目になりますが、ボストンに来る前は小学校で4年ほど校長をしていました。そんなある日、教育委員会から在外教育施設に校長として行くよう指示がありました。ですから、希望というよりも広域の人事異動という感じですね。

行き先は自分では決められません。文部科学省から平成22年の12月過ぎに「ボストン補習授業校」という内定通知が送られてきて、初めてアメリカに来ることを知りました。ボストンは以前来たときに大変印象の良い街でしたので、うれしいというのが正直なところでした。

・保護者が是非お伺いしたいことです。校長先生が日本語学校で、「任期中にこれだけはやり遂げたい」ということを今お持ちでしたら教えてください。

今はまだ、ボストン日本語学校の良さや課題を見極めるときです。町田運営委員長様をはじめとする運営委員の皆様、また、市村PTA会長様をはじめとする保護者の皆様からたくさんのお話を教えていただきながら、伸ばすべきところと修正していくべきところを整理していきたいと思っています。漠然としたビジョンで申し訳ありませんが、子どもたちが「日本語学校が大好き」と感じ、保護者の皆様が「通わせて良かった」と思っただけの学校、そして、教職員が「ここで働くことができ、幸せ」と感じられるような学校であってほしいと願っています。

・先生は、日本語学校PTA活動は活発だとよくおっしゃっていますが、PTAに期待されることは何ですか。

今、日本の多くの学校では、PTAの役員をしてくださる人が減ってきて困っています。PTA活動はボランティア活動ですので、「どうして私がそんなに大変なことをしなければならないのか!？」と言う方が増えてきました。しかしながら、日本でも役員をされた方たちは口をそろえて、「やってよかったです。学校に対して噂だけで間違った認識をもっていました、PTA活動を通して先生たちの熱心さや思いを知ることができて、学校のことを応援したくなりました。」と話してください。お忙しい中、本当に大変なご苦勞をおかけしていることと思いますが、子どもたちのために、よりよい環

境づくりをしてくださるPTA活動は、本当にありがたいものです。それは、子どもたちのためだけではなく、保護者の皆様ご自身のネットワークを広げ、助けてくれる仲間を増やすことでもあると思います。たくさんの人と出会い、たくさんの会話をし、活動を楽しんでいただけたらと思っています。私にも気軽に声をかけてください。

・最後に、保護者の皆さんにメッセージをお願いします。

本校の保護者の皆様は、日本の学校の保護者に比べ、子育ての面ではるかに多くの悩みをもっているのではないかと感じています。現地校での英語と文化の問題、日本語維持の問題、学力の問題、日本人としてのアイデンティティの問題、帰国後の不安、永住の不安等々、悩みは多いことと思います。そんな悩みに負けないためにも、PTA活動に積極的に参加し、保護者同士のネットワークづくりをしてください。そして、そのネットワークで不安を和らげ、自信をもって子育てをしていただくことが、たくましい子ども育てに繋がることと思います。私も皆様のお役に立てることがあれば、協力させていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



新人執行部員挨拶・紹介

漢検

漢字検定 吉田忍

本年度より、漢字検定を担当させていただくことになりました。この機会に、漢字検定実施のお知らせをさせていただきます。「日本漢字能力検定」の受験者数も毎年増加の一途を辿り、日本国内外で2010年度には約232万人が受検いたしました。2000年度は157万人ですので、10年の間に75万人以上、受験生が増えたこととなります。昨年からは、家族2人以上合格すると家族表彰されることになりました。「家族みんなで頑張る」を目標に、家族の絆を深めるきっかけにされてはいかがでしょうか。



広報 五味露敏

本年度から広報を、ハードベックさんと一緒に担当します五味露敏（ロビン）です。アメリカに駐在して早17年。幼少、大学を含めて27年程アメリカに住んでいます。あつと言う間に時間が過ぎ去ってしまいました。

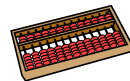
初仕事でもあった先月の会報ではさっそく小さなミスを犯してしまい、訂正文を今月号に出すことに。おっちょこちょいなので、身を引き締めて、PTAからの情報発信を正しく、タイムリーに皆様に伝えて行きたいと思います。今後もよろしくお願い致します。



文化祭 リンダマン香織(1学期まで) 五十嵐敏子(2学期より)

文化祭の手伝いを2年間経て、今回実行委員長を引き受ける事になりました。実行委員長として文化祭を取りまとめていく事もさることながら、今回PTA執行部に入り、10数名の執行部の方々が、運動会のヘルパーなど自分の担当以外にも、いかに沢山の仕事を陰で行い、日頃の学校運営の支えとなっているかということに、改めて驚く毎日です。微力ではありますが、今回縁あって執行部に入った事をきっかけに、少しでも学校運営に役立てればと願っています。〔リンダマン〕

2学期より、1年間休学されるリンダマンさんを引き継ぎ、文化祭の担当をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。〔五十嵐〕



会計 アキュレック恭子

本年度から会計を担当しますアキュレック恭子です。まだ日本語学校2年目の若輩者(若くはありません)で、PTA執行部の予備知識も無いままこの特殊な世界(?)に飛び込むことになり、他の役員の方々の熱い働きぶりに圧倒され、脇でバタバタしております。

物忘れも置き忘れも多いうっかり傾向に加齢で拍車がかかり、会計ではくれぐれも気を抜かない様心掛ける必要があります、着任以来不眠とストレスによる過食に悩んでおります(笑)。既にたくさん頂いてる激励のお言葉ありがとうございます。PTA会費まだの方、納入をよろしくお願い致します。

平成23年度漢字検定

日時 : 11月5日(土) 13時から

場所 : 日本語学校内教室

申し込み : 2学期始めに告知予定

過去問題集を利用できるサイトの御案内 :

<http://www.kanken.or.jp/mondai/index.html>



JCP レポート



グレー・デヴィッド

三階のカフェテリアに入ると、小さな声が聞こえてきます。どこか懐かしい感じです。この感覚は昔聞いたものと同じです。「この感じはなんだろう」と自分に問うてみます。

それは一斉に繰り返される声のせいですか？そうではありません。ふと気がつくそれは微笑みです。丸いテーブルに7人の生徒が座り、そのテーブルが四つあります。そうだ！微笑みはぴったり同じ。世界中のどこでも学ぶことを楽しんでいる生徒達の生き生きとした表情は、教師にはこの上もない喜びです。

保護者向け日本語クラス JCP(Japanese Class for Parents)はずっと前から考えられていたのだと思います。日本語を母国語としない親たちは、ずっと勉強したいと思っていたのでしょうか。その中には、15年以上に渡って自分の子供と日本の学校に通っていたという人もいます。ついに今年の5月7日に、市村会長を筆頭とするPTAの尽力のお陰で、PTAの為の日本語の授業が40人の生徒で始まりました。クラスは初級、中級、上級、と三段階に別れ、ボストン日本語学校に新しい歴史を飾りました。親が日本語を学ぶのにはいろんな理由があります、自分の子供に努力することの大切さを親の背中をもって伝えたい、言語を理解し使うことで夫婦間の理解を深めたい、ただ純粋に日本語を勉強したい、などです。私も日本語を母国語としない親として、また日本語クラスを手伝う者として、このクラスがたくさんの人の役に立てればと切に願っています。



バイリンガル教育セミナー



大好評!



イベント企画担当 青木葉子

5月7日に行われた「バイリンガル教育セミナー第3弾～バイリンガルの子どもの心理的健康の為に～」では、レクチャールームが一杯となる80名近い参加があり大好評のうちに会を終了しました。今や半数が国際結婚というボストン日本語学校の状況の中、バイリンガルの子どもの育てる保護者の皆様と共に学び、考える場となれば…と思い始まった専門家の講師による「バイリンガル教育」シリーズ。第一回は「バイリンガリズムとバイリンガル教育」、第2回では「アイデンティティークライシス」についてレクチャーとパネルディスカッションを行い、それぞれ大好評でした。

イベント企画委員では、「バイリンガル教育」をテーマに、皆様のニーズに合わせたセミナーを今後も提供していきたいと思っております。ご意見・御要望はどうぞ jlsPTAevent@gmail.com までお寄せください。

なお、セミナーの内容は日本語学校ウェブサイト「PTA活動」のサイトで自由に閲覧できるようになっております。個人の学習の場としてご活用下さいませ。

2011年度1学期カレンダー

6月 June みなづき 水無月

11日 糖尿病セミナー

25日 1学期最終日

8月 August はづき 葉月

27日 2学期始業日

前号の訂正とお詫び

5月7日発行のPTA会報・2011年度のクラス役員さんの紹介一覧から、小6-2役員の小山百合さんが抜けておりました。お詫び申し上げます。